

# 一般質問通告書

岩美町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問したいので通告します。

令和2年12月 7日

岩美町議会議長 足立 義明 様

岩美町議会議員 杉村 宏 印

記

質 問 事 項	質 問 要 旨
1 高齢者の交通環境の整備を。	<p>岩美道路など、高規格道路の整備が大きな要因である と考えるが、数年前から交通安全対策特別交付金の支給 されない町、つまり、交通事故の少ない地域と認定され ているような状態だ。一般的に、交通事故の発生場所は 市街地で多発し、郊外では散発的な発生で、岩美町の街 路の状況も、交通事故が少なくなっている要因だ。</p> <p>一方、路線バスなどの公共交通のみに頼る生活は、現 在も、当分の間の将来も、相当不便で、多くの町民が生 活交通手段として自家用車を利用している。</p> <p>そうしたなか、高齢者に対する衝突防止対策100% の町を目指し、安全に運転できる「運転寿命」を延ばし たい。</p> <p>1、現状において、免許返納者の路線バス利用は現実的 な話ではないと考えるがどうか。</p> <p>2、シニアカーの利用は、岩美町の現在の道路状況で、 一部を除き推奨しにくいと考えるがどうか。</p> <p>3、国のサポカー補助金を受けた後の、本人負担部分の 町補助を行い、高齢者に対する衝突防止対策等100% の町を目指したいがどう考えるか。</p> <p>4、岩美駅周辺における高齢者専用駐車場の検討とし て、岩美駅東側の岩井軌道跡地や、岩美駅西側の駐輪場 の使用状況を踏まえて駐輪場の範囲を縮小して、駐車場 を整備することは考えられないか。</p>

\* 「要旨」であるためには、少なくとも内容についての具体性がなければならない。  
「何々一般」というようなものは、要旨にはならない。

質 問 事 項	質 問 要 旨
<p>2. 学校教育の学びは転換しようとしているのか。</p>	<p>来年1月には児童生徒1人当たり1台の情報端末が本町にも整備される。この道具を用いて、文部科学省が実現目標としている2020年のGIGAスクール構想が現実のものとなっていく。その道具の活用や運用等の考え方を明らかにし、本町の学校教育の学びが転換しようとしているかを質す。</p> <p>1、情報端末の通信速度が遅い場合、子どものやる気を阻害してしまう。今年度内にネットワークのスピードの確認授業を行って見ないか。また、その状況を、ケーブルテレビの生中継などで保護者の皆さんにも見て頂ける公開授業とする考えはないか。</p> <p>2、今年度のデジタル教材はどのようなものか。また、来年度のデジタル学習教材は、どう考えているか。</p> <p>3、そもそも、デジタル教材とはどのようなものか。学習範囲が当該学年を下回ったり越えたりすることもあるのか。</p> <p>4、教職員とは別に、学習指導員やスクール・サポート・スタッフ（SSS）の、今年度の配置状況や、来年度はどう考えているか。</p> <p>5、家庭においてネット接続環境のない児童生徒に、接続できるルーター等の貸与及び情報端末の家庭持帰りは考えるべきではないか。</p> <p>6、報道によると、「個別最適化」と言われているが、個に応じた学びの「個別化」は、百年前から教育の世界では唱えられており、特別支援教育ではごく普通に実践されているとされている。そして、それは広がっていない。日本の教科書自体が長年、一斉指導型で作られ、いまだに「自分が教えたい」と思っていて、全員が前を向いて聞いてくれたら満足である先生が多いとも言われている。だから、一斉指導にこだわり、子どもを自由にさせることができない。これは非常に根の深い問題で、情報通信技術（ICT）が入っても教員の意識が変わらなければ、「個別最適化」の実現は難しいとの厳しい指摘がある。</p> <p>岩美町の現状はどうで、問題点、改善すべき点はどうか。</p>

\* 「要旨」であるためには、少なくとも内容についての具体性がなければならない。「何々一般」というようなものは、要旨にはならない。